

■定格総荷重表

●ジブ/アウトリガ使用時

アウトリガ最大(5.1m)張出(全周)						
5.5mジブ						
ジブ角度 ブーム角度	5°		17°		30°	
	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重
80.0°	4.7	2.00	5.9	1.50	6.8	1.20
75.0°	7.6	2.00	8.6	1.50	9.4	1.20
70.0°	10.3	2.00	11.2	1.50	11.8	1.20
65.0°	12.7	1.62	13.4	1.25	14.1	1.12
60.0°	14.9	1.35	15.7	1.09	16.3	1.02
55.0°	17.0	1.15	17.6	0.98	18.3	0.91
50.0°	19.0	1.00	19.6	0.87	20.1	0.82
45.0°	20.8	0.87	21.4	0.78	21.8	0.75
40.0°	22.5	0.75	22.9	0.70	23.1	0.68
35.0°	23.9	0.65	24.3	0.62	24.4	0.60
30.0°	25.2	0.56	25.4	0.54	25.4	0.52
25.0°	26.2	0.48	26.4	0.46		
20.0°	27.1	0.41	27.1	0.38		
15.0°	27.7	0.35				
10.0°	28.0	0.30				
5.0°	28.3	0.25				
最小ブーム角度	5°		20°		30°	

アウトリガ中間(4.2m)張出(側方)						
5.5mジブ						
ジブ角度 ブーム角度	5°		17°		30°	
	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重
80.0°	4.7	2.00	5.9	1.50	6.8	1.20
75.0°	7.6	2.00	8.6	1.50	9.4	1.20
70.0°	10.3	2.00	11.2	1.50	11.8	1.20
65.0°	12.7	1.60	13.4	1.25	14.0	1.06
60.0°	14.9	1.32	15.7	1.09	16.3	0.94
55.0°	17.0	1.07	17.6	0.93	18.3	0.82
50.0°	19.0	0.85	19.6	0.78	20.1	0.69
45.0°	20.8	0.65	21.4	0.63	21.7	0.57
40.0°	22.5	0.50	22.9	0.49	23.1	0.45
35.0°	23.9	0.35	24.3	0.35	24.4	0.32
30.0°	25.2	0.25				
最小ブーム角度	30°		35°		35°	

アウトリガ中間(4.8m)張出(側方)						
5.5mジブ						
ジブ角度 ブーム角度	5°		17°		30°	
	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重
80.0°	4.7	2.00	5.9	1.50	6.8	1.20
75.0°	7.6	2.00	8.6	1.50	9.4	1.20
70.0°	10.3	2.00	11.2	1.50	11.8	1.20
65.0°	12.7	1.62	13.4	1.25	14.1	1.12
60.0°	14.9	1.35	15.7	1.09	16.3	1.02
55.0°	17.0	1.15	17.6	0.98	18.3	0.91
50.0°	19.0	1.00	19.6	0.87	20.1	0.82
45.0°	20.8	0.85	21.4	0.76	21.8	0.73
40.0°	22.5	0.70	22.9	0.66	23.1	0.63
35.0°	23.9	0.58	24.3	0.55	24.4	0.53
30.0°	25.2	0.47	25.4	0.45	25.4	0.41
25.0°	26.2	0.38	26.4	0.33		
20.0°	27.1	0.27				
最小ブーム角度	20°		25°		30°	

アウトリガ中間(3.2m)張出(側方)						
5.5mジブ						
ジブ角度 ブーム角度	5°		17°		30°	
	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重	作業半径 (m)	定 格 総荷重
80.0°	4.7	2.00	5.9	1.50	6.8	1.20
75.0°	7.6	2.00	8.6	1.50	9.4	1.20
70.0°	10.3	2.00	11.2	1.50	11.8	1.20
65.0°	12.7	1.50	13.3	1.15	14.0	1.00
60.0°	14.7	0.98	15.5	0.84	16.3	0.78
55.0°	16.7	0.65	17.5	0.58	18.3	0.56
50.0°	18.8	0.43	19.5	0.40	20.1	0.37
45.0°	20.6	0.22				
最小ブーム角度	45°		50°		50°	

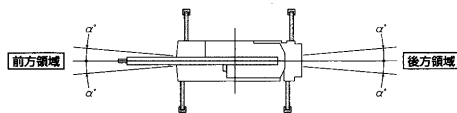
■注意事項

[アウトリガ使用時]

①定格総荷重は、水平堅土において機体を水平に設置した状態で転倒荷重の78%を越えない値に基づいたものであり、かつ移動式クレーン構造規格14条における前方安定度も満足する値で、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。□の部分は機械の強度によって定められ、他は機体の安定によって定められています。

フックの種類	16t	2.9t
質量	140kg	45kg

- ②作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
- ③ジブ作業においては、ブーム角度だけを基準として行ってください。なお、ジブ作業半径は25.0mブームにジブを装着した場合の参考値を示します。
- ④アウトリガ最大張出幅は5.1m、中間張出幅は4.8m、4.2m及び3.2mです。また、最小張出幅は1.825mです。
- ⑤アウトリガ張出状態によって、側方域でのつり上げ性能は異なります。従って、各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。前方、後方域でのつり上げ性能は、アウトリガ最大張出の定格総荷重表で作業を行ってください。



アウトリガ張出状態	中間張出(4.8m)	中間張出(4.2m)	中間張出(3.2m)	最小張出(1.825m)
領域α°	33°	28°	20°	5°

- ⑥補助シーブの定格総荷重は、主ブームの定格総荷重より16tフックの質量(140kg)を差し引いた値と等しく、かつ限度を2,900kgとします。
- ⑦ブームの長さが、規定の長さを越える場合には、規定の長さか1段上のブームの長さのいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。
- ⑧ジブを装着したままでブーム作業を行う場合は、主ブームの定格総荷重よりつり具等の質量のほかに350kgを差し引いてください。なおこの場合は、補助シーブは使用しないでください。
- ⑨定格総荷重において空欄となっている部分では、作業を行うことはできません。また、ブームを最小角度以下に倒しますと無負荷で転倒することもありますので、充分注意してください。
- ⑩フックの最小巻掛本数は、ワイヤロープ一本当り2,900kgを越えない範囲で決定しますが、各ブーム長さに対する標準巻掛本数は下記の通りです。

ブーム長さ	6.7m~11.3m	15.9m~25.0m	ジブ/補助シーブ
使用フック	16tフック		2.9tフック
巻掛数	6	4	1

- ⑪操作ミスなどによる吊荷の落下を防ぐため、クレーン作業では自由降下作業は行わないでください。
- ⑫斜め方向(アウトリガ方向)でのつり上げ作業で、条件によっては吊荷と対角側のアウトリガフロートが浮く場合があります。これはキャリアフレームの振動剛性やタワミ等によるものであり、安定度を失ったものではありません。本機は定格総荷重内の作業においては、水平堅土において機体を水平に設置した状態で安定度は確保されています。

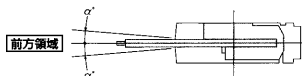
[アウトリガ不使用時]

①定格総荷重は、水平堅土においてタイヤの空気圧が規定圧で、かつ、サスペンションロックシリンダを最も縮小にした場合に本機の保証できる最大荷重を示しており、主、補フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。□の部分は機械の強度によって定められています。

フックの種類	16t	2.9t
質量	140kg	45kg

タイヤ規定空気圧:882kPa(8.00kg/cm²)

- ②作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準として行ってください。
- ③前方性能と側方性能とで定格総荷重が異なります。前方領域から側方領域へ旋回する場合には、過荷重になる恐れがありますので充分注意してください。(前方性能は前方検出リミットスイッチにて設定されています。)



オンタイヤ領域α°	定置ぶり	走行ぶり
	1°	1°

- ④補助シーブの定格総荷重は、主ブームの定格総荷重より16tフックの質量(140kg)を差し引いた値と等しく、かつ限度を2,900kgとします。
- ⑤定置ぶりクレーン作業は、パーキングブレーキおよび作業用補助ブレーキを効かせた状態で行ってください。
- ⑥走行ぶりは、High、Low切替スイッチをLowレンジにして行ってください。
- ⑦走行ぶりは、荷が振れないように地面近くに保持し、2km/h以下にて行ってください。特にコーナリング、急発進、急制動に注意してください。
- ⑧走行ぶり中には、クレーン作業は行わないでください。
- ⑨フックの最小巻掛本数は、ワイヤロープ一本当り2,900kgを越えない範囲で決定しますが、各ブーム長さに対する標準巻掛本数は下記の通りです。

ブーム長さ	6.7m~20.4m	補助シーブ
使用フック	16tフック	2.9tフック
巻掛数	4	1